

桐生人こそ宝。～快疎のまちで輝く人々～

歴史と文化が息づく桐生で、次世代をリードする芸術家を育てたい。

東京藝大准教授を務めながら、桐生で暮らしているのはなぜ？

奈良で生まれ育ったので、寺社や祭りなど伝統文化が息づくまちで子育てをしたくて、妻の故郷の群馬県内を探して桐生に移住しました。洋風平屋を建築家とリノベーションして暮らしています。東京との程よい距離感が気に入っています。

桐生の魅力はどんなところですか？

活用できそうな古い建物がたくさんあり、これから文化によるまちづくりが盛り上がりそうなおところ。藝大と桐生は、昔から伝統的建造物群を利用した芸術運動などでつながりがあるんですよ。

これから桐生でやっていきたいことは？

重伝建でゼミや合宿ができれば素晴らしいですね。芸術家の卵とこのまちをつなぎたい。例えばノコギリ屋根工場跡を期間限定のアトリエとしてお借りし、東京では出来ない大きな絵を描いたり。その様子をまちにひらくことで交流が生まれ人材も育つし、観光面でも貢献できと思っています。



みやもと たけのり
宮本 武典さん

奈良市出身、桐生市本町在住。東京藝術大学准教授。専門はキュレーション。武蔵野美術大学大学院で絵画を学び、パリ賞受賞により渡仏。原美術館学芸部を経て、平成17年から31年まで東北芸術工科大学教授・主任学芸員を務める。クリエイターと地域資源・ものづくりの技術・伝統文化とのコラボレーションを推進。平成31年4月、桐生新町重要伝統的建造物群保存地区へ家族とともに移住。



美大生らが東北の湯治場に滞在し、旅館や地元住民に取材して制作した灯籠プロジェクト

パチリいい顔

桐生っ子

市内に居住する3歳まで（申し込み時）の桐生っ子をご紹介します。

問い合わせ＝魅力発信課（☎内線505・506）



ほその のあ
細野 希結ちゃん
9か月
(広沢町四丁目)



たけ ここあ
武 来々愛ちゃん
8か月
(広沢町二丁目)



ばば かえで
馬場 栞花ちゃん
1歳
(川内町二丁目)



ちぎら つかさ
千明 司ちゃん
1歳
(新里町小林)